

吉浦中学校区小中一貫教育推進協議会だより

あ

い

「あい」は eye 自分の目で何が正しいかを見抜いてほしい

「あい」は I 自分自身を大切にしてほしい

「あい」は 会い 人との出合いを大切にしてほしい

「あい」は 愛 人にも自分にも愛の心で接してほしい

令和5年3月7日

令和4年度を振り返って

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症に始まり、終息しないまま、終わろうとしています。新型コロナウイルス感染症対策をとりながらではありますが、少しずつ以前の教育活動が戻ってきました。引き続き感染症対策をとりながら、子供たちの学びを止めないように、取組を進めていきたいと思っています。

さて、今年度、吉浦中学校区では、「郷土を愛し、心豊かで、たくましく生きるため、主体的に学ぶ児童生徒の育成～教科等の本質に迫る『考える授業づくり』を通して～」を研究テーマとして、小学校と中学校が連携しながら、研究・研修を進めてきました。

また、本年度・来年度と呉市教育委員会から「小中でつくる『未来の学び』実践事業」の指定を受け、小中一体となって研究に取り組んできました。

今求められる子供たちの力に「主体的に学ぶ力」があります。与えられた課題を、与えられた方法で解いていく力ではなく、自ら課題を見付け、解決方法を探り、さらに発展させていく力が求められています。今年度、吉浦中学校区では、子供たちが積極的に授業に参加し、主体的に学ぶために、どのような授業づくりをすればよいか、研究・研修を重ねてきました。「『めあて』『チャレンジ（選択肢と自己決定）』『振り返り』の三つのかぎで主体的な学びの扉を開く」をテーマに、各先生が実践し、協議し、研究の方向性が少しずつ見えてきました。

今年度、授業提案してくださった先生方、貴重な授業ありがとうございました。また、中学校区での研究に参加していただき、いつも丁寧に指導・助言をしていただいた広島県教育委員会義務教育指導課 村田主任指導主事様、呉市教育委員会小中一貫指導グループ河野指導主事様をはじめ各指導主事様に感謝申し上げます。

来年度は、「小中でつくる『未来の学び』実践事業」の二年目です。今年度の取組を基盤に、子供たちの「学力向上」「主体的な学び」に向けて、小中学校力を合わせて、研究・研修を進めていきましょう。一年間ありがとうございました。



令和4年度2. 3学期 小中一貫教育における活動等の様子

① 乗り入れ授業

〔小・栄養教諭→中〕（1月20日）

小学校の栄養教諭が中学2年生で、減塩についての授業をしました。

〔中・外国語科教諭→小〕（2月7日）

二人の先生が英語で会話をしながら中学校の教科や入りたい部活などについて質問されることに答えていきました。全て英語でも、聞き取る力が付いています。



② 授業研究会 2学期には、三つの授業研究を行いました。

吉浦中：保健体育科
（10月6日）



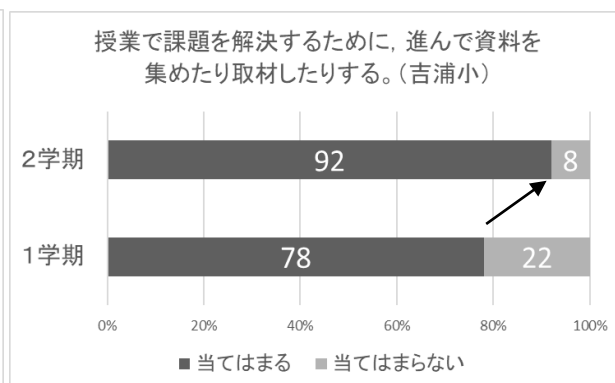
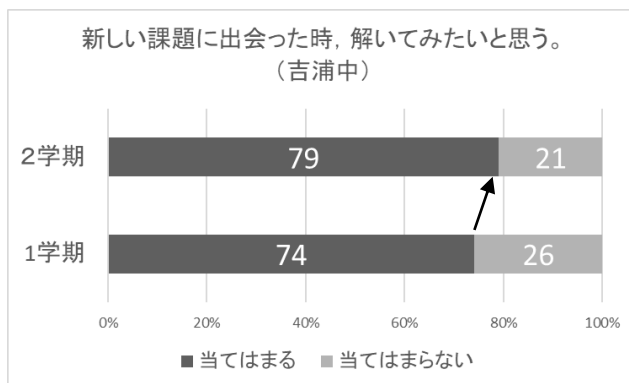
吉浦中：総合的な学習の時間
（10月28日）



吉浦小 4-1：国語科
（11月25日）



③ 今年度の研究内容は「考える授業づくり」を通して、主体的な児童生徒を育てることでした。伸びの大きかった検証結果の一部を載せています。



小学校、中学校ともに、自分から進んで学習に取り組もうとする意欲に高まりが見られました。今後も主体性を育てる取組を続けていきます。